

**【お問い合わせ先】**

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

**2020年12月 キャタピラー明石事業所 60周年**

—お客様、地域の皆さまとともに、よりよい世界の構築のために—

明石事業所は、1960年12月10日に設立され、日本と世界に向けて建設機械を提供し続けています。操業からわずか1年で、記念すべき国産初の油圧ショベル「Y-35」の生産に成功しています。

「明石の地で、キャタピラーの象徴的な製品の1つである油圧ショベルの開発および製造をしていることを誇りに思います。」と代表執行役員 明石事業所長 豊浦信海は述べています。

「60年にわたって、私たちは従業員の専門知識及び経験の継承・蓄積、さらに強力なサプライチェーンにより、お客様のビジネスの成功に役立つ最高品質の製品を提供してきました。」

60年の間に、473,000台余の多岐にわたる油圧ショベルを開発・製造してきました。2017年には、技術、作業効率、燃費、メンテナンスコスト、安全性など、あらゆる点で以前のモデルを超越した次世代油圧ショベル（NGH）を明石から世界に投入することにより、その歴史に新たな章を始めました。NGHの画期的な機能は、お客様から高く評価され、キャタピラー社のテクノロジーリーダーシップの強化に役立っています。この成果は、明石で長年に渡り築き上げてきた深い専門知識と、お客様の成功に役立つより良い製品を継続的に作成したいと考えている従業員の献身によって可能になりました。

私達は、過去60年にわたってコミュニティに貢献してまいりました。最近では、兵庫県、神戸市、日本貿易振興機構（JETRO）大阪、土木学会 関西支部のご後援をいただき、2018年に将来のイノベーションを担うリケジョの夢を応援するためにSTEM賞（一般・学生部門）を創設いたしました。これらの賞は、高校、大学、大学院生、若手エンジニア・研究者の女性に焦点をあてています。

兵庫県国際監の水口典久氏は、「キャタピラー・ジャパンは、2017年に本社機能の多くを兵庫県明石市に移転し、現地の雇用を増やすなど地域経済の活性化に貢献しています。また、グロー

バルに展開をいただいているキャタピラーが兵庫県を日本における重要拠点としていることを嬉しく思うとともに、また、兵庫・関西キャタピラーSTEM賞の創設など女性活躍の推進をいただいております。さらなる地域の発展に向けて、今後とも win-win の協力体制を築いていきたいと考えます。」と述べておられます。

より良い世界の実現のために、油圧ショベルの安全性・信頼性・可能性をどこまでも求めて、地域の皆様とともに、明石事業所は今後も挑戦してまいります。

以上

**キャタピラー社について：**

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。

日本における Caterpillar：<https://www.caterpillar.com/ja/company/caterpillar-in-japan/>